

# 「三浦保」愛基金県直営事業(令和2年度当初予算)

## 県直営事業

### 【環境保全・自然保護分野】

(単位:千円)

#### ◎ 気候変動適応等普及啓発強化事業費(県民環境部 環境政策課) 4,545

気候変動適応策の普及啓発や県地球温暖化対策実行計画などの周知を図る。

- 1 えひめの環境の未来を考えるシンポジウムの開催
  - (1)時期 2年6月(環境月間)
  - (2)対象者 県民、市町職員、環境団体関係者 など
  - (3)内容 基調講演、パネルディスカッション、パネル展示 など
- 2 えひめ環境アトリエの開催
  - (1)時期 2年6月(環境月間)、10月(リサイクル月間)、12月(地球温暖化防止月間)
  - (2)開催地 20市町(エコ講座は5か所)
  - (3)内容 県の取組み等を周知するためのパネル展示やエコ講座 など
- 3 えひめの環境eブックの作成  
地球温暖化、気候変動、県の各種計画等を分かりやすく解説した電子ブックを作成

### 【社会福祉分野】

#### ◎ 障がい者スポーツ総合支援事業費(スポーツ・文化部 地域スポーツ課) 12,383

えひめ大会のレガシーを継承するため、競技団体への支援や身近な地域でスポーツを楽しめる環境を整備するなど、障がい者スポーツの裾野拡大に向けた取組みを総合的に支援する。

- 1 団体競技チームマネージャー設置支援事業  
全国障がい者スポーツ大会の正式種目である団体競技のチーム活動支援
- 2 障がい者スポーツ地域コーディネーター設置事業  
障がい者スポーツ地域コーディネーターの設置、体験交流会及び競技会の開催
- 3 ボッチャ競技普及活動支援事業  
ボッチャサポーターの養成、地域普及活動支援、競技用品等購入支援

※下線部のみ愛基金対象事業

#### ◎ eスポーツチャレンジ事業費(スポーツ・文化部 地域スポーツ課) 6,659

障がいの有無や程度にかかわらず参加できるeスポーツの振興を図るため、障がい者と健常者の相互交流を深める機会の創出や障がい者のITリテラシーの向上に取り組む。

- 1 eスポーツスタートアップ支援
  - (1) eスポーツモデル施設への機材整備(県内特別支援学校等3施設)  
機材整備、eスポーツ普及に関する実証事業
  - (2) eスポーツスタートアップレッスン事業  
モデル施設でeスポーツに取り組む障がい者を対象とした操作方法や知識を習得する講座の開催
  - (3) eスポーツ研究会への参画  
大学等の研究会における専門家意見の聴取
- 2 eスポーツゲーム開発(ゼロ予算)  
専門学校と連携した本県独自のゲーム開発
- 3 eスポーツ大会の開催
  - (1) えひめインクルーシブeスポーツ大会の開催(3年1~3月)
  - (2) 愛顔のeスポーツゲーム体験事業  
対象 一般のゲームタイトルの利用が難しい障がい者 など  
内容 学生等が開発したゲームを活用した体験会の実施、開発したゲームのコンテストの開催

#### ◎ 青少年インターネット適正利用見守り推進事業費(県民環境部 県民生活課) 1,155

青少年のインターネット等の適正利用を図るため、青少年の見守り活動の担い手を対象にした人材育成研修を開催するとともに、普及啓発活動を実施する。

- 1 インターネット等安全利用サポーター養成講座の開催
  - (1)対象 青少年育成協議会、防犯協会、商店街振興組合、PTA、NPO等の構成員 約50人
  - (2)時期 2年5月~6月(計3回)
  - (3)内容 インターネット利用の問題点、事例に基づく問題整理、指導・見守り方法 など
- 2 インターネット等安全見守り県民運動推進事業
  - (1)時期 3年1~2月
  - (2)場所 東・中・南予の大型商業施設(9か所)
  - (3)内容 啓発チラシ配布、パネル展示、フィルタリング利用促進ブース設置

◎ 子ども・若者の立ち直り支援推進事業費（県民環境部 県民生活課） 1, 915

子ども・若者世代の非行のうち、将来に重大な影響を及ぼすおそれのある性非行について、身近な相談窓口である地域支援者に対する研修などを通じ、地域全体で非行少年の立ち直りを支援する。

- 1 地域支援者向け立ち直り支援研修事業  
(1) 対象 地域支援者(市町職員、保護司、民生児童委員、少年警察ボランティア等)約150人  
(2) 時期 2年6月  
(3) 内容 講義(少年の性非行の現状及び課題、支援の在り方等)、事例発表、ワークショップ など
- 2 立ち直り支援ハンドブック作成事業  
専門家を招へいた作成検討会議や先進事例の調査研究を基に、ハンドブックを作成し、保護者や地域支援者の初期対応に資する。  
検討会議出席者 県児童心理司、少年鑑別所心理技官 など 20人

◎ 休日不妊相談窓口設置事業費（保健福祉部 健康増進課） 1, 547

不妊に悩む方の相談支援体制充実のため、電話相談窓口を新たに土曜日午後を設置する。

- 1 委託先 (一社)愛媛助産師会
- 2 事業内容 不妊治療および不育症に関する悩み等の相談
- 3 実施方法 電話相談(専用ダイヤル)毎週土曜日・午後(年末年始を除く)

◎ 動物愛護推進事業費（保健福祉部 薬務衛生課） 10, 901

動物愛護管理法の改正を機に、県民に対する動物の適正飼育の啓発及び地域猫活動等の取組みを強化し、犬猫殺処分数の早期抑制を図る。

- 1 適切な動物との関わり方に関する啓発  
適正飼育、地域猫活動の啓発資材作成、啓発講座やふれあい教室等の開催
- 2 「動物愛護サポーター制度」導入事業  
賛同企業の協力を受けて周知や事業の実施
- 3 ミルクボランティア事業  
ボランティアによる生後間もない動物の飼育協力
- 4 飼い主のいない猫対策事業  
(1) 地域猫活動推進モデル事業の実施  
モデル地区での不妊去勢手術支援、人材育成、事例集の作成  
(2) 地域猫への不妊去勢手術等に対する補助  
・補助先 県獣医師会、市町

※下線部のみ愛基金対象事業

◎ 心のバリアフリー推進事業費（保健福祉部 障がい福祉課） 2, 672

東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、障がい者への合理的配慮や接遇の方法を分かりやすく説明した接遇マニュアルを作成するとともに、当該マニュアルを活用した研修を実施する。

- 1 接遇マニュアルの作成  
障がい者に対する合理的配慮の事例や接遇の際の注意点をイラストや写真等で説明
- 2 研修事業  
(1) 対象者 県内商店、飲食店、ホテル、観光施設等の接客担当者  
(2) 内容 当事者による障害者差別解消法の説明、障がい者に対する合理的配慮の事例等

◎ 通学路安全安心対策推進費（警察本部） 3, 236

登下校時の子どもが対象となる事件が多発していることから、通学路の安全確保対策を強化する。

- 1 反射式腕章を着装した通学路見守り活動の促進
- 2 可搬型見守りカメラによる見守り活動の実施

【知事特認】

◎ しまなみサイクリングロード交通安全対策費（警察本部） 3, 630

しまなみサイクリングロードにおいて、サイクリスト等の交通事故の抑止対策を実施する。

- 1 整備箇所 一時停止する交差点や登り坂など(糸山公園付近など10か所)
- 2 整備内容 ソーラーボイスメッセージャー

地域の魅力発信高校生サイクリング推進事業費（教育委員会 高校教育課） 16, 400

自転車の安全利用やサイクリングを通して高校生の健全育成を図るとともに、地域の自然環境や文化を学習することで、地域の魅力を発信できる人材を育成する。

- 1 サイクリング推進リーダー校及びサイクリング推進協力校の指定(東・中・南予 各2校)  
クロスバイクの整備(協力校)、サイクリング魅力体感研修(各校1回) など
- 2 リーダー校・協力校の取組  
(1) 自転車店との連携による自転車技術指導講習の実施(各校6回)  
(2) 「愛媛マルゴト自転車道」の清掃やサイクリストへのおもてなし  
(3) 県内の大規模サイクリングイベントへの参加(各校1回)  
(4) 東・中・南予3会場でのサイクリング大会の企画・開催 など